



## 冬鳥越スキーガーデンでの親子運動教室 (9月7日)

■市内中学生二人が日本一に	②
■小池市長の市政報告	③⑦
・三条市、田上町、栄町、下田村の合併に関する大きな危惧について	
■歯の健康	⑨
■加茂川水生生物調査	⑩⑪
■加茂の風土記	⑫

主な内容

お気軽においでください  
市民と市長の「よもやま話」の日

10月23日(木) 午後1時30分から行います  
30日(木) 時間等については御相談ください

【受付・問い合わせ】 市役所3階総務課広報広聴係  
(☎52-0080 内線323)  
までお願いします

葵中学校3年

中野涼司くん

全国中学校体育大会  
陸上男子八百m優勝  
陸上国体新潟県予選  
少年男子共通八百m優勝



# 日本一おめでとう

加茂中学校3年

若林舞衣子さん

日本ジュニアゴルフ選手権

女子12~14歳の部 優勝

ヨネックス レディス

ゴルフトーナメント2003

決勝ラウンド進出 53位タイ

新潟県女子アマチュア選手権

スクランチ競技 優勝



この夏、加茂の二人の中学生が日本一に輝きました。

中野涼司君は、8月22日に北海道で開催された全国中学校体育大会で、自己記録を更新して優勝しました。

また、若林舞衣子さんは、同じ8月22日に埼玉県で開催された日本ジュニアゴルフ選手権で女子12~14歳の部で優勝しました。

10月に中野君はジュニアオリンピックに、若林さんは日本女子オープンゴルフ選手権に出場し、さらなる飛躍が期待されます。

# 市政報告



加茂市長

小池清彦

## 三条市、田上町、栄町、下田

村の合併に関する大きな危惧について

しかし、この四市町村の合併によつて、この地域は、明らかに大幅に衰退することが懸念されます。地方交付税交付金は、合併すると毎年四十億円も減ることになると推定されます。

特に、田上町と下田村は、壊滅的打撃を受けるものと思われます。そこで、この四市町村と密接な

関係を有する加茂市の市長としては、これを見過ごすことができず、次に掲げる文書をこの四市町村の三役、議員、担当部課長にお送り申し上げました。

村の四市町村で合併協議会設立準備会をつくつて、合併に向かって進もうとしています。

御一読いただければ、ありがたく存じます。

平成15年8月21日

三条市、田上町、栄町、下田村の  
三役、議員、担当部課長様

加茂市長 小池清彦

### 県央四市町村の合併に関する大きな危惧について

- 1 新潟県は、合併協議会の数が全国で2番目に多く、異常な合併熱にとりつかれた県であります。私は、市町村の集団自殺によって破滅に向かいつつあるこの県の一市長として、誠に寒心に耐えないところであります。
- 2 県央においても、三条市、栄町、田上町、下田村の四市町村が、合併に向かって進もうとしておられ、これらの市町村と密接な関係を有する加茂市の市長として、深く憂慮せざるをえないところであります。
- 3 冷静に分析した場合、新潟県が没落し、加茂市の隣に衰退した新しい市が出現する心配が大きいときに、特に新しい市の旧町村部は著しく衰退する可能性が大きいときに、私は何と言われようとも、私の大きな危惧の思いだけは、申させていただかなければならぬと考え、あえてこの文書をお送り申し上げる次第であります。
- 4 まず以て私が心配いたしますのは、四市町村の合併によって、新しい市に来る国の金は、地方交付税交付金だけでも少なくとも毎年約40億円減るであろうということであります。また、その毎年減る40億円については、これを人口割りにしますと、旧三条市地域でも実際は減るはずなのですが、このたびは、計算上は、減る分はありません。一方、旧田上町地域では、毎年14億円も減り、旧下田村地域では19億円も減り、旧栄町地域では6億円も減るということであります。
- 5 即ち、旧田上町地域では、これまで毎年23億円ずつ国から来ていた地方交付税交付金は9億円に減り、旧下田村地域では、これまで27億円ずつ来ていたものが8億円に減り、旧栄町地域では、毎年14億円ずつ来ていたものが、8億円に減るものと思われます。
- 6 これは、旧田上町地域と旧下田村地域の壊滅を意味するものと思われます。旧栄町地域も大きな痛手を受けることになりましょう。それ

ならばと、もし旧三条市地域の分を他の三地域へ回せば、今度は旧三条市地域が衰退することになります。ほかの多くの県におけるように、合併などしなければ何も起こらないのに、合併したとたんに、このようになるのであります。それは、国がこのたびの市町村合併を進める唯一の目的が、地方へよこす金を減らすことにあるからであります。

7 以上申し述べましたことを具体的に説明いたします。

四市町村が合併すると、合併前の各市町村の地方交付税交付金の段階補正分の合計額が大幅に減ってしまうため、新しい市の国から来る地方交付税交付金の人口一人当たりの交付額は、現在の三条市の人一人当たり交付額よりも少なくなります。しかし、仮に多く見積もって、現在の一人当たりの交付額 66,031 円が国から来ると仮定すると、次の表のようになります。

市町村合併による地方交付税交付額の減少の試算

県 央 東 部 地 域	団体名	人口(人) (13.3.31現在)a	平成12年度交付税交付額(千円)		三条市1人当たり 交付額(円) c	a × c=d(千円)	d-b (千円)
			b	普通交付税			
	三条市	85,883	5,670,982	4,664,873	1,006,109	66,031	5,670,982
	田上町	13,848	2,298,821	2,155,690	143,131	66,031	914,397
	下田村	11,669	2,727,358	2,537,006	190,352	66,031	770,516
	栄町	11,995	1,404,812	1,276,870	127,942	66,031	792,042
	合計	123,395	12,101,973	10,634,439	1,467,534		8,147,937
							△3,954,036

このように計算いたしますと、合併しなければ、これまで毎年 121 億円の地方交付税交付金がこの地域へ来ていたのに、合併すると、それは 81 億円に減ってしまいます。即ち 40 億円の減となります。しかも、前述のように、その毎年減る分 40 億円のほとんどすべてが、旧田上町、旧下田村、旧栄町のいわゆる周辺部で減らされるということになります。

8 上で述べた結果を、地方交付税の算定における「段階補正分」の計算の方から見てみます。

地方交付税交付金における段階補正分とは、人口 10 万人の市の段階補正分をゼロとし、それから人口が減るに従って幾何級数的に段階補正分が増えていくというものです。他方人口が 10 万人を超えると、割り落としという制度によって、幾何級数的にマイナスの段階補正が課されることになります。マイナスの段階補正分とは、一定の計算式により算定された地方交付税交付金の額からその段階補正額を差し引かれるということです。即ち、四市町村が合併すると人口 12 万 1 千人の新しい市ができ、これは 10 万人を超えるので、マイナスの段階補正が課せられます。その額は、マイナス 3 億 1 千百万円で、この分が地方交付税交付金から差し引かれるという大変なこと

になります。

その状況は、次のとおりとなります。

**県央東部の合併による普通交付税段階補正の影響額**  
(平成12年度普通交付税による試算)

(単位：百万円)

	合併前の各市町村の段階 補正分の額の計 A	合併後の段階補正分の額 B	減 少 額 B-A C
4市町村の場合	1,553	△ 311	△ 1,864

(単位：百万円)

	合併前の各市町村の段階 補正分の額の計 A	合併後の段階補正分の額 B	減 少 額 B-A C
三条市	140		
栄町	454		
田上町	460		
下田村	499		
4市町村計	1,553	△ 311	△ 1,864

※参考

平成12年度 普通交付税・特別交付税一覧表

(単位：千円、人)

市町村名	普通交付税①	特別交付税②	合計 ①+②	H12年度末人口 (H13.3.31現在住基人口)
	交付額	交付額		
三条市	4,664,873	1,006,109	5,670,982	85,883
栄町	1,276,870	127,942	1,404,812	11,995
田上町	2,155,690	143,131	2,298,821	13,848
下田村	2,537,006	190,352	2,727,358	11,669
4市町村計	10,634,439	1,467,534	12,101,973	123,395

合併前の四市町村の段階補正分の合計額は15億5千3百万円で、合併後の新しい市の段階補正分はマイナス3億1千百万円ですから、合併によって段階補正分は18億6千4百万円も減ることになります。即ち、合併すると段階補正分だけで18億6千4百万円ものお金が確実に毎年来なくなりますので、これだけでも壊滅的打撃ですが、それだけでは済みません。市町村が事業を行うときは、まず起債（借金）をすることになっており、通常、返済時等に事業費の半分以上は国が金を出す仕組みになっております。そうしますと、新しい市には毎年18億6千4百万円もの金が来なくなりますので、その分を新しい市の自己負担分とする事業を起こすことができなくなります。その結果、事業を行えば来るであろう新しい市の自己負担分と同額以上の金が国から来なくなります。従って、新しい市には、毎年段階補正分の減

18億6千4百万円の2倍、即ち、37億2千8百万円以上の金が国から来なくなります。この金額は、7のやり方で計算した40億円に符合いたします。

9 このように、2つのやり方での計算はいずれも、県央四市町村が合併した場合には、毎年40億円もの金がこの地域に来なくなることを示しています。しかもそのほとんどすべてが、旧田上町と旧下田村と旧栄町の分として減ることになるのです。特に旧田上町と旧下田村が受ける打撃は致命的と申し上げてよろしいかと思います。

10 ところが国は、老獴な手法として、合併によって大幅に減ることになる地方交付税交付金を10年間は減らさず、10年たったらその後5年間に一気に減らすこととしています。しかし、新しい市において10年後に交付税が致命的に減ることがわかっているのに、のんびりしていることができるでしょうか。新しい市は当然発足当初から10年後の致命的な事態に備えて、超緊縮財政政策をとり、福祉その他の水準を最低に抑えて、ひたすら貯金に励まねばならなくなります。また、合併特例債の起債などしている財政的余裕はありません。

11 合併特例債は、10年ないし15年と返済期間が短いうえに、返済時に新市が3割を負担せねばならない危険なものであります。

合併特例債は、使途が制限されており、合併することになって必要なもの、たとえば巨大な市役所のようなごく限られたものに対してのみ認められるものであります。

さらにこの合併特例債には「起債制限比率」の制限があって、これが15%を超えないようにしなければならず、起債することはほとんど不可能なものです。平成14年11月14日、全国市長会理事会において、総務省の事務官のナンバー2である香山総務審議官は、私の質問に対して「起債制限比率は守ってもらわねばなりません。総務省は、起債制限比率を見ながら、1件1件査定します。」と答えておられるのです。

即ち、合併特例債というものは、馬の鼻先につるされたニンジンのようなもので、食べようとして食べることのできないものであります。

12 市町村合併によるスケールメリットなどというものは、幻想であり、実際には存在しないものであります。合併しても、職員の数は減りません。職員一人で担当できる住民の数は、ほとんど一定で変わらないからです。ちなみに、職員一人当たりの住民の数は、田上町91.1人、燕市91.8人、新潟市95.7人、加茂市101.6人です。市長と助役がいなくなっていて、市役所支所の所長と次長が新設されます。議員の数の減少によって節約されるお金などは、総予算の中では微々たるものであります。さらに、議員の減少は民主主義の自殺です。

13 平成13年度に臨時財政対策債が創設されて以来、実質的な地方交付税交付金は、名目上の地方交付税交付金に臨時財政対策債を加えた額となりました。臨時財政対策債は、国が起債を起こして作ったお金を

地方交付税交付金として交付する代わりに、市町村等に起債を起こさせて、返済する時に全額国が負担するものであります。

全国市長会で総務省は、地方交付税交付金は今後とも実質減らないと説明しており、現実に各市町村に来る実質的な地方交付税交付金は減ってはおりません。それが合併すると破滅的に減ることになるのです。

14 合併熱は、新潟県で特に激しい流行のようなものであります。新潟県に隣接する県では、それほど大きな動きではありません。

福島県の佐藤栄佐久知事と長野県の田中康夫知事は、市町村合併反対の急先鋒であります。富山県の中沖豊知事は総務省の出身で、市町村合併に関する政府の真意をよく御存じですから、同県における合併の動きは、それほど大きなものではありません。群馬県と山形県は、もともと合併の動きが大きなところではありません。

15 このたびの「平成の大合併」なるものの特徴は、国が説得力のあるメリットを何一つ示すことができないまま、進行していることがあります。

そもそもそのはずでありますし、そもそもこのたびの市町村合併が言われ出したのは、前々回の参議院選挙において自民党が東京都で全敗したことに端を発しているのであります。このとき都市の国会議員の間で「自民党は都市の住民に見放されているのではないか。」との危機感が生じ、極力地方へやる金を減らすための手段として市町村合併が言われ出したのであります。しかし、それもお座なりのものであったのですが、小泉総理になってから3千2百の市町村を300以下にすると言い出して、事が大きくなつたのです。

従って、政府の意図は、市町村合併によって、その地域へ渡す金を大幅に減らすことにあるのであります。

16 日本の市町村の数は約3千2百、ドイツは約1万2千（一説では1万6千）、フランスは約3万7千、アメリカは約1万8千もあります。ヨーロッパ大陸やアメリカでは、人口1万人といえば、特段に大きなまちなのです。これでこそ、地方で直接民主主義的要素を豊かに持った市民中心の民主的政治が可能となるのです。日本だけが、ヨーロッパやアメリカで主流の人口1万人以下の町村をなくする必要がどこにあるのでしょうか。

17 合併は、誘蛾灯のようなものであります。あの美しい灯火には大きな夢があり希望があるように見えるかもしれません、それは幻想であります。そこには、破滅が待っているのみであります。

18 私は、日本が全体主義ファシズムの方向に進むことを阻止して民主主義を守り、新潟県を没落から守り、県央を没落から守り、豊葦原の瑞穂の国日本の存立の基盤である町や村を守り抜くために、あえて問題を提起させていただいた次第であります。

何卒よろしく御理解下さいますよう、御願い申し上げます。



皆さんは「今日で治療は終わりです」と言われると、ホッとするとと思われます。

でも、歯周病の場合は、特にこれからが大切なことです。

自己管理のもとでブラークコントロール（※1）をしなければならないからです。

歯周病の原因は、ブラーク（歯垢）、細菌のかたまりです。歯みがきでブラークを除去しながらみがき残しが認められます。

また、歯と歯肉の構造上、歯肉より上のブラーク（歯肉縁付近／3mmの深さぐらい）は、自分自身でみがき落とすことができますが、歯肉縁下4mm以上の深い歯周ポケット（※2）にあるブラークは歯科医院で機械を使用して除去しないと、なかなかきれいにはできません。自分自身では、みがきにくい・みがけない場所があるのです。

ただ、歯周病はブラークがた

## 歯周病予防は定期健診で

まつたからといって、すぐに自覚症状が出るものではありません。歯肉が急に腫れたりする以外は、あまり痛みもなく、静かに進行していくので、かなり歯周病が進んでも、虫歯のような激しい痛みも伴わないことが多いのです。

自覚症状として、歯肉が腫れぼったいとか、ぐらついてきたといった症状が出てきた状態では、かなり進行しています。

ですから、自覚症状がないときでも、定期的に歯科医院で健診することが大切になります。

期間はその人によって違いますが、一年に一～二回は必要です。

歯周病予防は、自分自身のブラークコントロールと歯科医院での定期健診の二本立てで、十分に可能です。

進んで定期健診を受け

るようになります。

※1：ブラークコントロール口腔内に付着したブラーク（歯垢）を歯みがきで落とし、細菌の増加を抑え、口腔内の環境を整えていくこと。

※2：歯周ポケット

（加茂市歯科医師会）

# 総体結果

【壮年の部】

優勝 新町2丁目野球部  
準優勝 八幡

三位 赤谷、秋房野球会  
優勝 加茂中学校



野球

期日 八月三日・十日、  
十七日・二十四日

会場 七谷野球場、川西野球場  
【一般の部】

優勝 加茂市役所野球部  
準優勝 インディアンスクラブ

三位 日本海、ルーテーズ

【中学生の部】  
優勝 加茂中学校B  
準優勝 葦中学校B

【Bクラス】▼男子①渡辺哲（グリ

【Aクラス】▼男子①宮原真一（加茂高）▼女子①中沢友里恵（加茂高）②志田聰子（加茂ローン）③佐藤博子（加茂高）山口香菜（同）テニス

【Bクラス】▼男子①宮原真一（加茂高）▼女子①中沢友里恵（加茂高）②志田聰子（加茂ローン）③佐藤博子（加茂高）山口香菜（同）テニス

ーンヒル）②長谷川弘良（同）③栗原悟（加茂暁星高）袴田敏尚（加茂ローン）▼女子①河内陽子（加茂テニス）②佐藤桂子（グレイト）③吉沢恵美子（同）大桃さおり（加茂テニス）

【Bクラス】▼男子①宮原真一（加茂高）▼女子①中沢友里恵（加茂高）②志田聰子（加茂ローン）③佐藤博子（加茂高）山口香菜（同）テニス

## 市議会9月定例会 13議案を審議

定例市議会は、九月十九日から十月二日までの会期日程で開かれています。

この議会に市長が当初提出した議案は、各会計補正予算、条例の改正、人事など十三件で、その主な内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

事業費一千七百二十七万円などの減額です。

老人保健拠出金四百四十八万円、療養給付費交付金精算返還金四百五万円などを増額し、総額を二十二億八千五百十七万四千円とするものです。

水道事業会計決算

平成十四年度水道事業会計決算について、監査委員の審査意見を付して議会の認定を得たい

教育委員の任命

九月末日で任期満了となる現委員の後任に、井上信一氏（神明町二・64歳）を任命することで認定するものです。

監査委員の選任

議会議員から選任する監査委員に高橋禪雄氏（新町二・60歳）を選任することについて、議会の同意を求めるものです。

固定資産評価審査委員の選任

九月末日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、古川良二氏（青海町二・71歳）を再任することに議会の同意を求めるものです。

障害者医療費助成事業費八百八十万円、林業生産振興施設等整備事業費六百七十八万円などの増額と、職員人件費一千九百九十九万円、林業木材産業構造改革

手当が引き下げられたことにより、国に準じて退職手当を引き

市職員の退職手当支給条例等民間企業退職金実態調査の結果を踏まえ、国家公務員の退職手当が引き下げられたことによるもので、議会の同意を求めるものです。

下げる条例の改正などです。

市道路線

道路法に基づき、地元の要望により、矢立線七号を市道として認定するものです。

教育委員の任命

九月末日で任期満了となる現委員の後任に、井上信一氏（神明町二・64歳）を任命することで認定するものです。

監査委員の選任

議会議員から選任する監査委員に高橋禪雄氏（新町二・60歳）を選任することについて、議会の同意を求めるものです。

固定資産評価審査委員の選任

九月末日で任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、古川良二氏（青海町二・71歳）を再任することに議会の同意を求めるものです。

# 加茂川水生生物調査

## 加茂川はきれいな水? きたない水?

名が加茂川、三条健康福祉環境事務所・加茂地区理科教育センターと、加茂川の上流・下流に生息する水生生物の調査を行いました。

「きれいな水」を教えるべくされました。

『この虫、何かなあ?  
「あつ、ヘビトンボだ!」

川底の石の下や石の間に潜んでいたちは、パンフレットを片手に生物を分類します。

川の中には多くの水生生物が生息していますが、特に川底に生息している生物は、その地点の水のよごれ具合を教えてくれます。このように川の環境の状態を私たちに教えてくれる生物を指標生物といいます。

この調査は、カワゲラやサワガニなど、河川に生息する体長数ミリから十センチくらいの指標生物を分類することで、「きれいな水」「少しきたない水」「きたない水」「大変きたない水」の四階級に河川の水質を判定するものです。

毎年夏休み中に市内の小学五年生を対象に、加茂川での体験学習を通じて身近に河川の水質保全の重要性を知つてもらうも



### 加茂川の水は 「きれいな水」?

午後からは七谷コミュニティセンターに場所を移し、加茂地区理科教育センター小野浩先生の指導により、各班の記録をもとに全体の採取結果の集計を行い、加茂川の上流と下流の水質の判定を行いました。

上流は、きれいな水に生息するカワゲラやヘビトンボなどが多く採取され、文句なしに「きれいな水」と判定されました。

一方下流は、きれいな水に生息するカワゲラやヒラタカゲロウから大変きたない水に生息するサカマキガイまで幅広く採取されました。が、きたない水に生息するヒルやミズムシが多く見られたため、総合的に「きたない水」と判定されました。

参加した子どもたちは九班に分かれ、加茂川の上流と下流の水質を調査しました。上流は水合流地点、下流は葵橋から下川原橋の間でそれぞれ調査を行いました。

子どもたちはひざまで水につかりながら、石をひっくり返しては裏に隠れている生物を探したり、網で川底をくっつてみたりして生物を採取し、川べりで採取した生物を資料と照らし合わせながら友達と確認したり、先生に「これは何ていう生物?」などと質問しながら、生物の種類や数を記録しました。

上流では、ヘビトンボなど今までに見たこともない生物が次々と見つかるので、子どもたちは夢中で生物を採取していました。

## 川が汚れる原因は?

水質判定の後の講話で小野先生は子どもたちに問い合わせました。

「川が汚れる一番の原因是、私たちの家庭から排出される生



理科教育センター 小野 浩 先生

活排水で、全体の約五割を占めています」という答えに子どもたちは大変驚いたようです。続いて「味噌汁一杯を魚がすりで何杯分の水が必要でしょうか?」との問い合わせに、百杯、二

杯と答えたもののがいました。ほとんどの子どもたちは首をかしげ、「答えは千杯です」と聞くと、再び驚きの声が上がりました。

先生の講話により、川が汚れる原因が自分たちの生活によつて排出される生活排水であり、

アユなど四十種以上の魚が生息しています。アカザ(新潟県発行の「レッドデータブック新潟」)では絶滅危惧種に指定され、近年数が激減したとされている種などは、葵橋付近でも見る事ができます。また、ヤマセミ、カワセミ、オシドリといつた貴重で、しかもきれいな野鳥も簡単に観察できます。市街地を流れる川でこれだけ豊かな自然を体験できる河川は貴重です。

葵橋付近の水質階級は「きたない水」ということになりました。水源地上流では「きれいな水」見つかりました。今回の調査ではヒルが多く見つかったため、の指標生物であるヘビトンボ、

人間が生活している以上、川を汚す要因をゼロにすることはできません。しかし、川を汚さないようになると、環境を守つていくことはできます。子どもたちと様々な活動や学習をすることで、自然環境を守つてくために必要なことは何か、共に考えていくたいと思います。

葵橋付近では、「きれいな水」には、近年小中学校の総合的な学習や理科の学習でも利用されています。

毎年、葵橋と水源地の第二貯水池上流で水質調査を行っています。葵橋付近では、「きれいな水」

## 加茂川水質調査を終えて

アユなど四十種以上の魚が生息しています。アカザ(新潟県発行の「レッドデータブック新潟」)

では絶滅危惧種に指定され、近年数が激減したとされている種などは、葵橋付近でも見る事ができます。また、ヤマセミ、カワセミ、オシドリといつた貴重で、しかもきれいな野鳥も簡単に観察できます。市街地を流れる川でこれだけ豊かな自然を体験できる河川は貴重です。

葵橋付近の水質階級は「きたない水」ということになりました。水源地上流では「きれいな水」見つかりました。今回の調査ではヒルが多く見つかったため、の指標生物であるヘビトンボ、

人間が生活している以上、川を汚す要因をゼロにすることはできません。しかし、川を汚さないようになると、環境を守つていくことはできます。子どもたちと一緒に活動や学習をすることで、自然環境を守つてくために必要なことは何か、共に考えていくたいと思います。



### 平成15年度加茂川水生生物による水質調査

H15.7.25

調査場所名	葵橋(下流)	蕨沢川(上流)
時刻	9:20~10:00	10:50~11:30
天候	晴	小雨
水質階級		
きれいな水	1. アミカ 2. ウズムシ 3. カワゲラ 4. サワガニ 5. ナガレトビゲラ 6. ヒラタカゲロウ 7. ブエ 8. ヘビトンボ 9. ヤマトビゲラ	○ ○ ● ○ ○ ○ ○ ○
すこしきだなない水	1. イシマキガイ 2. オシマトビゲラ 3. カワニナ 4. ゲンジボタル 5. コオニヤンマ 6. コガクシマトビゲラ 7. スジエビ 8. ヒラタドロムシ 9. ヤマトシジミ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
きたない水	1. イソコツブムシ 2. タイコウチ 3. タニシ 4. 三ホンドロソコエビ 5. ヒル 6. ミズカマキリ 7. ミズムシ	● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
大変きたない水	1. アメリカザリガニ 2. エラミミズ 3. サカマキガイ 4. セスジユスリカ 5. チョウバエ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
水質階級の判定	Ⅰ 1. ○印と●印の個数 2. ●印の個数 3. 合計(1欄+2欄)	Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ 2 0 2 1 5 3 2 0 0 0 2 0 2 0 0 0 2 0 4 1 7 3 2 0
その地点の水質階級	きたない水	きれいな水

○: 出現した生物 ●: 特に多かった生物

# 鶴森組と庄屋 西方家

## 転勤する庄屋の事例

加茂では江戸時代の約二百七十年間、鶴森・須田地域は一貫して新発田藩領だった。藩は当初、信濃川と中ノ口川に挟まれた広い地域を「小吉島組」として組織化した。その後、組を分けて、万治二年（一六五九）には「鶴森組」として見える。

江戸時代中期の鶴森組の村々を見ると、鶴森村・前須田村など十七か村からなり、現在の市域では信濃川左岸沿いに白根・加茂・三条の各一部にまたがる。



耕泰寺墓地にある西方家の墓の一つ側面に「当家十代中興西方五右衛門孫子立之」とあり、正面に「興隆院鶴森通仙居士位」と十代目五右衛門の法名が刻まれている。

溝口氏が新発田藩に入部後、村の肝煎を経て、やがて庄屋となる。

庄屋の職務には、組内の年貢

の徴収や変事の糾明と報告など多岐にわたるが、藩への報告の怠りによつて、西方家は庄屋を解任させられている。それは寛保三年（一七四三）閏四月五日

（二六七八）石田儀右衛門、元

禄二年（一六八九）に再び子孫

の西方勘蔵、延享二年（一七四

五）石田平四郎、宝暦二年（一

七五二）坂井彦兵衛、と頻繁に

交替している。

このうちの庄屋西方家（ご子

孫新発田市在住）の異動を見る

と次のようである。

同家は山城国住人の小西隼人

候政・兵衛佐候吉の兄弟が、明

応元年（一四九二）、鶴森村に

居住したことに始まり、姓も西

方に変える。兄の隼人の子孫は

新発田藩領の場合は、村を治める長は、はじめ肝煎、のちに名主と呼ばれた。その村々を束ねる組織が組であり、組を治める

加茂・三条の各一部にまたがる。

新発田藩領の場合は、村を治める長は、はじめ肝煎、のちに名主と呼ばれた。その村々を束ねる組織が組であり、組を治める

加茂・三条の各一部にまたがる。

新発田藩領の場合は、村を治める長は、はじめ肝煎、のちに名主と呼ばれた。その村々を束ねる組織が組であり、組を治める

加茂・三条の各一部にまたがる。

新発田藩領の場合は、村を治める長は、はじめ肝煎、のちに名主と呼ばれた。その村々を束ねる組織が組であり、組を治める

を越えた。

なお、地元の鶴森村には弟の

兵衛佐の子孫である西方家が残り、名主となつてゐる。

（関 正平）

## 第26回ファミリー ソフトボール大会

八月二十四日、陸上競技場で開催されたこの大会には、十二チームが参加しました。

結果は次のとおりです。

優勝 後須田 A

小橋オールドスターズ

準優勝 横江 A

横江 B



### 人口のうごき

9月1日現在

世帯	9,891 (+ 7)
人口	33,116 (-14)
男	16,040 (- 8)
女	17,076 (- 6)

( ) 内は前月比

(8月異動分)

出生	25 (男11 女14)
死亡	33 (男19 女14)
転出	56 転入 50

**アリヤドット**

▼番場實さん（栄町）から  
社会福祉費寄付金 三万円

▼古澤征支さん（黒水北区）  
から 介護用ベッド一式

▼日本赤十字社社費 八千六百五十六世帯

▼社会福祉事務所へ 四百三十八万六千四百円

多くの市民の方からご協力いたきました。日本赤十字社社費、社会福祉協議会一般会費は八千八百二十一世帯 二百六十六万四千二百円

▼社会福祉協議会特別会費 七十六団体・法人 二十二万三千円

（八月三十一日現在）